

小池重喜教授 略歴および研究業績

学 歴

昭和17年3月	山口県下関市に生まれる
昭和35年3月	山口県立下関西高校卒業
昭和36年4月	東京大学教養学部（文科Ⅰ類）入学
昭和38年4月	同 経済学部進学
昭和42年3月	同 経済学部卒業
昭和42年4月	東京大学大学院経済学研究科修士課程（理論・経済史専攻）入学
昭和45年3月	同修士課程修了（経済学修士）（第137号）
昭和45年4月	東京大学大学院経済学研究科博士課程（理論・経済史専攻）進学
昭和49年9月	同博士課程単位取得満期退学

職 歴

昭和49年10月	高崎経済大学助手 附属産業研究所専任所員 経済学部：日本経済論担当（昭和50年12月迄）
昭和51年1月	同 講師 附属産業研究所専任所員 経済学部：日本経済論担当（昭和53年3月迄）
昭和53年4月	同 助教授 附属産業研究所専任所員 経済学部：日本経済論、演習Ⅰ・Ⅱ（Ⅱは翌年追加）担当（昭和62年3月迄）
昭和62年4月	同 教授 附属産業研究所専任所員 経済学部：日本経済論、演習Ⅰ・Ⅱ担当（平成8年3月まで）
平成8年4月	経済学部経営学科に所属変更 日本経営史、産業史、演習Ⅰ・Ⅱ担当（現在に至る）
平成14年4月	高崎経済大学大学院経済経営研究科 科目講義（日本産業史研究：現在に至る）
平成17年4月	同研究科修士課程演習講義（日本産業史研究：現在に至る）

高崎経済大学での主な役職

高経大学会会長（平成7年度、平成12～13年度）

経営学科長（平成10～11年度）

人事委員長（平成16年度）

産業研究所専任所員として所の運営に参加（昭和49～平成8年）

図書館郷土資料コーナー小委員長として郷土資料収集活動に参加（平成13年～）

所属学会

昭和42年10月～ 土地制度史学会会員（政治経済学・経済史学会）（現在に至る）

社会経済史学会会員（現在に至る）

平成16年4月～ 日露戦争研究会会員（現在に至る）

研究業績

単著 日本海軍火薬工業史の研究、平成15年3月17日、日本経済評論社

共著 高崎の産業と経済の歴史Ⅰ、昭和54年3月、高崎経済大学附属産業研究所
（担当部分）製糸業の史的展開（100頁）

高崎の産業と経済の歴史Ⅱ、昭和62年3月、高崎経済大学附属産業研究所
（担当部分）高崎と群馬の電力産業の史的展開（131頁）

利根川上流地域の開発と産業、平成3年3月、高崎経済大学附属産業研究所
（担当部分）利根川上流域の電力開発史（32頁）

開発の断面、平成8年3月、高崎経済大学附属産業研究所
（担当部分）艦艇建造と技術導入・開発－1930年代溶接技術（35頁）

地方の時代の都市・山間再生の方途、平成9年3月、高崎経済大学附属産業研究所
（担当部分）絹業の展開と地域構造（48頁）

単著論文

1. 群馬県産業史の研究

電力産業史

群馬鉄道馬車株式会社の前史及び「電化」計画に付いて、産研紀要第14号、昭和54年
伊香保電気軌道株式会社の成立と展開、産研紀要第18号、昭和56年

群馬県営電気設立計画について、産研紀要第21号、昭和57年

第一次大戦前後の群馬県電力産業、産研紀要第27号、昭和60年

1930年代の群馬県電力産業、産研紀要第29号、昭和61年

戦時期

「戦時」労働問題に関する若干の検討－賃金制度の再編成、経大論集第24－1号、昭和56年
「戦時」労働問題に関する若干の検討－「新規」徴用、産研紀要第20号、昭和57年
後期「企業整備」に関する若干の検討、産研紀要第22号、昭和58年

その他

群馬県組合製糸「器械」化の初期局面、産研紀要第24号、昭和59年
陸軍岩鼻火薬製造所の設立と展開、産研紀要第32号、昭和63年
群馬県の「農山村経済更生計画」上、産研紀要第33号、平成元年
周辺町村の開発が当市に及ぼす影響と方策、産研紀要第11号、昭和51年

2. 日本造船業史の研究

日本造船業と市場構造、社会経済史学会、第39巻第2号、昭和48年
第一次大戦前後以降における商船建造市場の再編成、産研紀要第10号、昭和50年
近代的海事政策体系の再編成と造船市場、土地制度史学会第75号、昭和55年
昭和10年代の日本造船業、産研紀要、創立30周年記念号、昭和63年
遠洋航路補助法の制定と日本造船業（1）～（5）、高経大論集第37巻4号～41巻4号、平成
6年3月～11年3月
第一次大戦前後の日本造船業（1）～（3）、高経大論集第44巻1号～44巻4号、平成13年6
月～14年3月

3. 海軍火薬工業史の研究

海軍における火薬工場管理の開始（1）～（4）、高経大論集第27巻2号～28巻3号、昭和59
年9月～昭和61年1月
海軍第二火薬廠の設立と立地問題、高経大論集第30巻1・2合併号 昭和62年
海軍第二火薬廠の着工、高経大論集、第30巻3・4合併号、昭和63年
船岡海軍火薬廠の建設と排水路布設問題 高経大論集、第36巻1号、平成5年
日露戦争と下瀬火薬システム、高経大論集第49巻1号、平成18年

4. その他

石炭流通機構の確立、『流通史Ⅱ』所収（古島敏雄・安藤良雄編、山川出版）、昭和50年

今後の主な研究課題

・群馬県産業史の研究

電力産業史：国家管理期の研究等を行いつつ体系化を図る

産業構造史の研究：組合製糸統合過程、戦時期「企業整備」の研究等を中心に研究進展を図る

・日本造船業史の研究：1920・30年代、戦時期の再検討等を行いつつ体系化を図る

・海軍火薬工業史の研究：戦時期等の研究進展を図る

- 軍需工業史の研究：海軍工廠の艦艇建造史を中心に研究進展を図る
- ・日本産業史の研究：重化学工業化を中心に独自性と体系化
 - ・日本財閥史の研究：三大財閥史の論理化

社会活動

- 1990年度～91年度 川崎市立今井中学校 PTA 会長
- 1992年度～ 川崎市立今井中学校 PTA-OB 会会員